

2022 年度事業報告

特定非営利活動法人 日本脳性麻痺・発達医学会

1 活動の成果

1.1 脳性麻痺に対する横断的医療の普及

- Web 上で CP カンファレンスを 2 回開催し、多数の医療関係者の参加を得た。
- ハイブリッド形式でハーバード大学整形外科 Snyder 教授の CP レクチャーを開催した。
- 千葉における地域の多職種に対するセミナーを共催した。

1.2 会員の拡充、相互の連携の推進

- CP カンファレンスへの参加を契機とする新会員が増加した。
- メーリングリストを作成し情報発信を行ったが、相互の意見交換はまだ少ない。

1.3 日本の現状に即した新たな介入方法の開発

- 片麻痺に対する集中介入プログラムの多施設共同研究を進めている。

2 事業の詳細

2.1 第 1 回 CP カンファレンス (WEB)

- 日時：2022 年 5 月 12 日
- 対象：医療・教育・保健・福祉など脳性麻痺に関わる職種の方々
- 参加費：無料。症例検討は会員限定
- 内容：ミニレクチャー「小児脳性麻痺における適切な痙縮治療と外科治療選択」
(金城副理事長)
症例検討「尖足歩行を呈する 4 歳女兒、必要な治療と最適なタイミングは？」
(北井理事)
- 参加者：ミニレクチャー 270 名、症例検討 100 名

2.2 第 2 回 CP カンファレンス (WEB)

- 日時：2022 年 8 月 25 日
- 対象：医療・教育・保健・福祉など脳性麻痺に関わる職種の方々
- 参加費：無料。症例検討は会員限定
- 内容：ミニレクチャー「小児の短下肢装具のここがギモン」
(根本理事、門野理事)
症例検討「小児下肢装具の悩みを語り尽くそう！」
(司会：門野理事)
- 参加者：ミニレクチャー 142 名、症例検討 45 名

2.3 2022CP レクチャー

- 日時：12月5日（月）17時30分～19時
- 場所：千葉リハビリテーションセンターからハイブリッド形式で配信
- 参加費：無料。
- 演者：Bryan Snyder 教授
- 演題名：脳性麻痺患者における整形外科的治療戦略
- 通訳：松本寛子顧問・松本葉子理事

2.4 第3回千葉県こどものリハビリ多職種勉強会を共催

- 会期：2022年10月8日13時～16時
- 形式：Zoomを用いたオンラインセミナー
- 第1部で講演「小児リハの地域・多職種連携」を荒井理事長が担当

2.5 片麻痺に対する集中介入プログラムの多施設共同研究を推進

- 北海道立子ども総合医療・療育センター、千葉県立千葉リハビリテーションセンター、ボバース記念病院の多施設共同研究
- 評価方法を統一し、翻訳して信頼性・妥当性を検証した。
- 暫定プログラムを作成し、フィジビリティを検討した。

3 事業実施体制

3.1 会議に関する事項

- 通常総会：郵送による紙面にて決議
 - ✓ 2022年度事業報告、決算報告の承認
 - ✓ 2023年度事業計画、活動予算の承認
- 理事会（Web）
 - ✓ 第1回2022年2月13日、第2回4月24日、第3回9月8日、第4回10月4日
第5回12月13日、第6回2023年1月24日

3.2 事務局体制

- 神戸医療福祉センターにこここハウス内
- 事務局長：松村 伸寿

3.3 ホームページ運営

- 特定非営利活動法人障がい者就労支援の会「あかり家」に委託
- <https://www.jacpdm.org/>

3.4 会員

- 正会員 医師69名、他職種49名
- 賛助会員 個人1名、団体6名